

NEBUCO Exhibition 1

会場／車両甲板 時間／9:00—19:00

ねぶた師によるNEBUCOと
地元アーティスト作品の共演！（表面に詳細記載）

波の表現は大きなねぶたの一部にすぎませんが、それぞれの波にはねぶた師の個性や創意工夫が溢れています。小さな波が集まって海となり、創造性という豊かな恵みが陸にもたらされ、花を咲かせるように、重なる波が地元アーティストの作品と出合います。港町青森の面影を残す八甲田丸での共演をどうぞお楽しみください。



NEBUCO Exhibition 2

会場／多目的大ホール 時間／10:00—17:00

ねぶたで利用された紙を使った作品や
港町青森をイメージしたポスターなどを展示します。

ドットアーティスト
サイトウ パピコ

**JAGDA 青森地区
有志メンバー ほか**

JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会）

NEBUCO Workshop

会場／多目的大ホール 時間／10:00—17:00 参加費／¥2,000

こねぶこ
coNEBUCOを作ろう!! 1日限定20個
(お申し込み不要・先着順)

波を表現したNEBUCOの制作体験ができます。あらかじめ
波を模った針金のcoNEBUCOに紙を貼り色付けするコースと、
紙を貼ったcoNEBUCOに色付けするコースがあります。
どちらの制作も専門のスタッフをご指導します。

coNEBUCO クリエイター
MARU・工藤友哉（株式会社 ツクリダス） ほか



NEBUCO Products

オリジナルグッズ販売

NEBUCOや港町青森をイメージして、
グラフィックデザイナーが新しく
デザインしたグッズを販売します。

グラフィックデザイナー ちばれいこ
JAGDA青森地区有志メンバーほか



手ぬぐい・風呂敷・豆皿
缶バッジ・ポストカード

中学校美術部・幸畑小学校児童 ほか
**グローバル
サインボード展示**

NEBUCO FESTIVALを
盛り上げるために
多言語で制作した
サインボードを
展示します。

7/1(月)～31(水)
《青森駅東西自由通路》
**波の生まれるところ
～制作の記録～**

NEBUCO制作中の
様子を撮影した写真を
展示します。
撮影 西川幸治

**キッチンカー
『cotocoto』が
やってきます！**

8/2(金)、3(土)、4(日)
9(金)、10(土)、11(日)の
6日間

※詳細はWEBサイトをご覧ください

《就航60周年》青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸



青函連絡船は1988年まで80年間にわたり、青森港と函館港を結び、1億6千万人の乗客と
2億5千万トンの貨物を選びました。この八甲田丸は東京オリンピックが開催された1964年に就航し、
23年7ヶ月という現役期間が一番長かった連絡船です。2011年には機械遺産第44号認定を受けています。

<https://aomori-hakkoudamaru.com/index.html>



《車いすご利用の方やお体が不自由な方はスタッフにお声がけください》

青い海公園連絡橋のエレベーターにて八甲田丸船内入口(2階船楼甲板)まで、お越しください。
NEBUCO Exhibition1会場(1階車両甲板)までエレベーターでご案内します。



《お問い合わせ先》 AOMORI NEBUCO FESTIVAL 2024 実行委員会

〒030-0945 青森市桜川1-3-16（ギャラリー クレイドル内） TEL. 090-3685-7811 contact@nebuco.jp

最新の情報はWEBサイトをご覧ください。また、各種SNSでも随時情報発信しています。

青函連絡船メモリアルシップ 八甲田丸

〒038-0012 青森市柳川1-112-15
(駐車場は台数に限りがございます)

